

6 騒音・振動・悪臭関係資料

表6-1-1 一般地域に係る騒音の環境基準（等価騒音レベル）

地域の類型	時間の区分		当該地域
	昼間	夜間	
AA	50デシベル以下	40デシベル以下	療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域
A	55デシベル以下	45デシベル以下	専ら住居の用に供される地域
B	55デシベル以下	45デシベル以下	主として住居の用に供される地域
C	60デシベル以下	50デシベル以下	相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

- (注) 1 地域類型の区分は、おおむね次のとおりである。
 A：都市計画法に基づく第一種、第二種低層住居専用地域、田園住居地域および第一種、第二種中高層住居専用地域
 B：都市計画法に基づく第一種、第二種住居地域および準住居地域
 C：都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域、準工業地域および工業地域
 2 時間の区分は、昼間とは午前6時から午後10時まで、夜間とは午後10時から翌日の午前6時までをいう。

表6-1-2 道路に面する地域に係る騒音の環境基準（等価騒音レベル）

地域の区分	時間の区分	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60デシベル以下	55デシベル以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域およびC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65デシベル以下	60デシベル以下

- (注) 1 AA地域およびA地域の1車線道路に面する地域については、本来道路騒音による影響を受けるべきではないとの考えから、一般地域に係る環境基準値がそのまま適用される。
 2 時間の区分は、一般地域に係る環境基準と同様である。

幹線交通を担う道路に近接する空間に係る特例（等価騒音レベル）

昼間	夜間
70デシベル以下	65デシベル以下

- (注) 1 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間：45デシベル以下、夜間：40デシベル以下）によることができる。
 2 幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、県道および4車線以上の市町村道をいう。
 3 近接する空間とは、道路端からの距離が、2車線以下の道路にあっては15メートル、2車線を超える道路にあっては20メートルまでをいう。
 4 時間の区分は、一般地域に係る環境基準と同様である。

表 6-1-3 新幹線鉄道騒音に係る環境基準

地域の類型	基準値	当該地域
I	70 デシベル 以下	新幹線鉄道の軌道中心線から両側300メートル以内の区域(以下「沿線区域」という。)のうち、都市計画法(昭和43年法律第100号)第8条第1項第1号の規定に基づく用途地域(以下「用途地域」という。)の定めのある地域については、第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、田園住居地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域および準住居地域、用途地域の定めのない地域については、主として住居の用に供される地域
II	75 デシベル 以下	沿線区域のうち、用途地域の定めのある地域については、近隣商業地域、商業地域、準工業地域および工業地域、用途地域の定めのない地域については、主として商工業の用に供される地域

(注) 沿線区域のうち、次の区域については該当区域から除くものとする。

- (1) トンネル区間(ただし、トンネルの出入口からトンネル中央方向150メートルの区間は除く。)
- (2) 河川区域
- (3) 用途地域の定めのない区域のうち、山林、原野、農用地等新幹線鉄道騒音から通常の生活を保全する必要のない地域

表 6-2 騒音規制法に定める自動車騒音の要請限度（等価騒音レベル）

区 域 の 区 分	時 間 の 区 分	
	昼 間	夜 間
a 区域及び b 区域のうち 1 車線を有する道路に面する区域	65 デシベル	55 デシベル
a 区域のうち 2 車線以上の道路に面する区域	70 デシベル	65 デシベル
b 区域のうち 2 車線以上の道路に面する区域及び c 区域のうち車線を有する道路に面する区域	75 デシベル	70 デシベル

(注) (区域の区分) a：おおむね都市計画法に基づく第一種、第二種低層住居専用地域および第一種、第二種中高層住居専用地域
 b：おおむね都市計画法に基づく第一種、第二種住居地域および準住居地域
 c：おおむね都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域、準工業地域および工業地域
 (時間の区分) 一般地域に係る環境基準と同様

幹線交通を担う道路に近接する空間に係る特例（等価騒音レベル）

昼 間	夜 間
75 デシベル 以下	70 デシベル 以下

表 6-3 騒音規制法に定める特定工場等から発生する騒音の規制基準

区域の区分	時 間 の 区 分			
	朝	昼 間	夕	夜 間
第 1 種 区域	45 デシベル	50 デシベル	40 デシベル	40 デシベル
第 2 種 区域	50 デシベル	60 デシベル	50 デシベル	45 デシベル
第 3 種 区域	60 デシベル	65 デシベル	60 デシベル	55 デシベル
第 4 種 区域	65 デシベル	70 デシベル	65 デシベル	60 デシベル

(注) (区域の区分) 第1種区域：良好な住居の環境を保全するため、特に静穏の保全を必要とする区域。
 (おおむね都市計画法に基づく第一種低層住居専用地域および第二種低層住居専用地域。)
 第2種区域：住居の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域。(おおむね都市計画法に基づく第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域および準住居地域。)
 第3種区域：住居の用にあわせて、商業、工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を保全するため、騒音の発生を防止する必要がある区域。(おおむね都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域および準工業地域)
 第4種区域：主として工業等の用に供されている地域であって、その区域内の住民の生活環境を悪化させないため、著しい騒音の発生を防止する必要がある区域。(おおむね都市計画法に基づく工業地域。)
 (時間の区分) 朝：午前6時から午前8時まで、昼間：午前8時から午後7時まで
 夕：午後7時から午後10時まで、夜間：午後10時から翌日の午前6時まで
 (そ の 他) 第2種区域、第3種区域および第4種区域内に所在する学校・保育所・病院・患者の収容施設を有する診療所・図書館・特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね50メートル以内の区域の規制基準は、当該区域の区分に応じて定める値から5デシベルを減じた値とする。

表6-4 騒音規制法に定める特定建設作業に伴って発生する騒音の規制基準

特定建設 作業種類	種類に対する規制基準					備考
	騒音の 大きさ	夜間または 深夜作業 の禁止	1日の 作業時間 の制限	作業時間 の制限	日曜日、 その他の 休日の 作業禁止	
① くい打機、くい抜機またはくい打くい抜機を使用する作業	85 デシベル	第1号区域 午後7時 から翌日の 午前7時 まで 第2号区域 午後10時 から翌日の 午前6時 まで	第1号区域 1日につき 10時間 第2号区域 1日につき 14時間	同一場所 において 連続 6日 間	日曜日、 その他 の 休 日	もんけん、圧入式くい打くい抜機またはくい打機をアースオーガーと併用する作業を除く。
② びょう打機を使用する作業						作業地点が連続的に移動する作業にあつては、1日における当該作業に係る二地点間の最大距離が50mを超えない作業に限る。
③ さく岩機を使用する作業						電動機以外の原動機を用いるものであつて、その定格出力が15kW以上のものに限る。(さく岩機の動力として使用する作業を除く。)
④ 空気圧縮機を使用する作業						混練機の混練量がコンクリートプラントは、0.45m ³ 以上、アスファルトプラントは、200kg以上のものに限る。(モルタル製造のためにコンクリートプラントを設けて行う作業を除く。)
⑤ コンクリートプラントまたはアスファルトプラントを設けて行う作業						原動機の定格出力が80kW以上のものに限る。
⑥ バックホウを使用する作業						原動機の定格出力が70kW以上のものに限る。
⑦ トラクターショベルを使用する作業						原動機の定格出力が40kW以上のものに限る。
⑧ ブルドーザーを使用する作業						

(注) (区域の区分) 第1号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第1種区域、第2種区域および第3種区域の全区ならびに第4種区域で(ア)学校、(イ)保育所、(ウ)病院・患者を収容する施設を有する診療所、(エ)図書館、(オ)特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね80m以内の区域。

第2号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第4種区域のうち、第1号区域を除く区域。

(その他) 1 基準値は、特定建設作業の場所の敷地境界線での値である。
2 6から8の作業にあつては、一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして環境大臣が指定するものを除く。

表 6-5 福井県公害防止条例に定める特定工場に係る騒音の規制基準

区域の区分	時 間 の 区 分			
	朝	昼 間	夕	夜 間
第 1 種 区 域	4 5 デシベル	5 0 デシベル	4 0 デシベル	4 0 デシベル
第 2 種 区 域	5 0 デシベル	6 0 デシベル	5 0 デシベル	4 5 デシベル
第 3 種 区 域	6 0 デシベル	6 5 デシベル	6 0 デシベル	5 5 デシベル
第 4 種 区 域	6 5 デシベル	7 0 デシベル	6 5 デシベル	6 0 デシベル
第 5 種 区 域	7 0 デシベル	7 5 デシベル	7 0 デシベル	6 5 デシベル
そ の 他 の 区 域	5 5 デシベル	6 0 デシベル	5 5 デシベル	5 5 デシベル

- (注) (区域の区分) 第1種区域： 都市計画法に基づく第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域または田園住居地域。
 第2種区域： 都市計画法に基づく第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域または準住居地域。
 第3種区域： 都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域または準工業地域。
 第4種区域： 都市計画法に基づく工業地域。
 第5種区域： 都市計画法に基づく工業専用地域。
 その他の区域： 上記に掲げる区域以外の区域。
- (時間の区分) 朝：午前6時から午前8時まで、昼間：午前8時から午後7時まで
 夕：午後7時から午後10時まで、夜間：午後10時から翌日の午前6時まで
- (そ の 他) 第2種区域、第3種区域および第4種区域内に所在する学校・保育所・病院・患者の収容施設を有する診療所・図書館・特別養護老人ホーム・幼保連携型認定こども園の敷地の周囲おおむね50メートル以内の区域の規制基準は、当該区域の区分に応じて定める値から5デシベルを減じた値とする。

表 6-6 福井県公害防止条例に定める深夜における騒音の規制基準

区域の区分	時 間 の 区 分	
	午後11時から翌日午前0時まで	午前0時から午前5時まで
第 1 種 区 域 お よ び 第 2 種 区 域	5 0 デシベル	4 5 デシベル
第 3 種 区 域	6 0 デシベル	5 5 デシベル
第 4 種 区 域、第 5 種 区 域 お よ び そ の 他 の 区 域	5 5 デシベル	5 0 デシベル

- (注) 1 規制の対象は、「飲食店営業（風俗営業法で規制されているものおよび祭礼その他地域の慣習となっている行事における営業を除く。）」、「ボーリング場営業」、「カラオケボックス営業」および「車両洗浄装置を使用または使用させる営業」。
- 2 区域の区分は、特定工場に係る騒音の基準に同じ。

表 6-7 振動規制法に定める道路交通振動の要請限度

区域の区分	時間の区分	
	昼間	夜間
第 1 種 区域	65 デシベル	60 デシベル
第 2 種 区域	70 デシベル	65 デシベル

(注) (区域の区分) 第 1 種区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第 1 種区域および第 2 種区域
 第 2 種区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第 3 種区域および第 4 種区域
 (時間の区分) 昼間：午前 6 時から午後 10 時まで、夜間：午後 10 時から翌日の午前 6 時まで
 (その他) 学校・病院等、特に静穏を必要とする施設の周辺の道路における限度は当該値から 5 デシベル減じた値とする。

表 6-8 振動規制法に定める特定工場等から発生する振動の規制基準

区域の区分	時間の区分	
	昼間：午前 6 時から午後 10 時まで	夜間：午後 10 時から翌朝 6 時まで
第 1 種 区域	60 デシベル	55 デシベル
第 2 種 区域	65 デシベル	60 デシベル

(注) 区域の区分および時間の区分は、道路交通振動の要請限度に同じ。

表 6-9 振動規制法に定める特定建設作業に伴って発生する振動の規制基準

特定建設 作業種類	種類に対する規制基準					備考
	振動の 大きさ	夜間または 深夜作業 の禁止	1日の 作業時間 の制限	作業時間 の制限	日曜日、 その他の 休日の 作業禁止	
① くい打機、 くい抜機ま たはくい打 くい抜機を 使用する作 業	75 デシベル	第1号区域 午後7時 から翌日の 午前7時 まで	第1号区域 1日につき 10時間	同一場所 において 連続 6日間	日曜日、 その他 の休日	もんけん、圧入式くい 打機、油圧式くい抜 機、圧入式くい打 くい抜機を除く。
② 鋼球を使用 して建築物 その他の工 作物を破壊 する作業						
③ 舗装版破碎 機を使用す る作業		第2号区域 午後10時 から翌日の 午前6時 まで	第2号区域 1日につき 14時間			作業地点が連続的に移 動する作業にあって は、1日における当該 作業に係る二地点間の 最大距離が50mを超え ない作業に限る。
④ ブレーカー を使用する 作業						

(注) (区域の区分) 第1号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第1種区域、第2種区域および第3種区域の全区ならびに第4種区域で(ア)学校、(イ)保育所、(ウ)病院・患者を収容する施設を有する診療所、(エ)図書館、(オ)特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね80m以内の区域。

第2号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第4種区域のうち、第1号区域を除く区域。

(その他) 基準値は、特定建設作業の場所の敷地境界線での値である。

表6-10 自動車交通騒音測定結果(令和2年度)

No.	調査路線名	評価区間	騒音測定地点	測定開始日	騒音測定結果		車線数	評価区間距離(km)	住居戸数(戸)	環境基準達成戸数(戸)			環境基準達成率(%)			実施機関
					昼(dB)	夜(dB)				昼間・夜間とも	昼間に ついて	夜間に ついて	昼間・夜間とも	昼間に ついて	夜間に ついて	
1	北陸自動車道	あわら市 丸～東山	あわら市 東山	R2.7.16	75	73	4	6.5	22	22	22	100	100	100	あわら市	
2	一般国道8号	坂井市 丸岡町～一本田福所～丸岡町宇隨	坂井市 丸岡町羽崎	R2.11.10	71	70	4	5.9	432	367	432	85.0	100	85.0	坂井市	
3	一般国道27号	小浜市 平野～太興寺	-	-	-	-	2	1.7	40	40	40	100	100	100	小浜市	
4	一般国道27号	小浜市 東市場～湯岡	-	-	-	-	2	3.9	179	176	179	98.3	100	98.3	小浜市	
5	一般国道27号	小浜市 湯岡～岡津	小浜市伏原	R2.11.17	71	69	2	8.8	204	195	204	95.6	100	95.6	小浜市	
6	一般国道27号	小浜市 岡津～鯉川	小浜市鯉川	R2.11.17	67	64	2	1.7	5	5	5	100	100	100	小浜市	
7	一般国道417号	鯖江市 純町～川去町	鯖江市 石田上町	R2.9.23	62	54	2	2.9	213	213	213	100	100	100	鯖江市	
8	一般国道417号	越前町 氣比庄～朝日	越前町 西田中	R2.11.25	64	56	2	1.8	70	70	70	100	100	100	福井県	
9	主要地方道28号 福井朝日武生線	福井市 西木田1丁目～下江守町	福井市 湖4丁目	R2.9.15	63	58	2	4.1	724	724	724	100	100	100	福井市	
10	主要地方道28号 福井朝日武生線	越前町 新町～千福町	越前町 日野美1丁目	R2.10.5	66	61	2	0.8	69	69	69	100	100	100	越前市	
11	主要地方道28号 福井朝日武生線	越前町 乙坂～西田中	越前町 氣比庄	R2.11.25	60	50	2	2.7	127	127	127	100	100	100	福井県	
12	主要地方道30号 福井丸岡線	福井市 順化1丁目～文京1丁目	福井市 田原1丁目	R2.9.15	64	58	6	1.4	406	406	406	100	100	100	福井市	
13	主要地方道30号 福井丸岡線	福井市 文京1丁目～大宮1丁目	福井市 大宮1丁目	R2.9.15	68	63	4	1.2	246	246	246	100	100	100	福井市	
14	主要地方道30号 福井丸岡線	福井市 大宮1丁目～舟橋町	福井市 高木1丁目	R2.9.15	67	61	2	1.9	404	404	404	100	100	100	福井市	
15	主要地方道30号 福井丸岡線	福井市 福田浜町～上森田1丁目	福井市 八重巻東町	R2.9.15	65	58	2	1.5	291	291	291	100	100	100	福井市	
16	主要地方道30号 福井丸岡線	福井市 上森田1丁目～河合寄安町	-	-	-	-	2	1.7	112	112	112	100	100	100	福井市	
17	主要地方道33号 佐田竹波敦賀線	敦賀市 津内町～白銀町	-	-	-	-	2	0.2	36	36	36	100	100	100	敦賀市	
18	一般国道225号 敦賀美浜線	敦賀市 津内町～野神	敦賀市 呉羽町	R2.9.2	63	68	2	2.4	268	268	268	100	100	100	敦賀市	
19	一般国道229号 福井鯖江線	福井市 今市町～今市町	-	-	-	-	2	1.5	36	31	35	86.1	97.2	86	福井市	
20	一般国道229号 福井鯖江線	福井市 浅水町～上江尻町	福井市 浅水二日町	R2.9.15	71	67	2	2.0	81	78	78	96.3	96.3	96	福井市	
21	一般国道229号 福井鯖江線	鯖江市 有定町3丁目～下司町	鯖江市 下司町	R2.9.23	68	64	2	1.6	131	129	129	98.5	98.5	98	鯖江市	
22	市道 福井駅北通線	福井市 町屋3丁目～幾久町	福井市 幾久町	R2.9.15	63	55	4	0.5	248	248	248	100	100	100	福井市	
23	市道 上鯖江線	鯖江市 舟津町5丁目～住吉町3丁目	鯖江市 上鯖江1丁目	R2.9.23	62	53	2	1.3	287	238	238	82.9	82.9	100	鯖江市	
										4,495	4,576	97.1	98.8	98		
										評価範囲全体(23区間)						

備考 騒音測定地点等に記載がない路線は、他路線の測定結果の準用により評価している。

表6-1-1 騒音に係る特定工場等実数および特定施設総数 (令和3年3月31日現在)

施設種類	1 項	2 項	3 項	4 項	5 項	7 項	8 項	9 項	10 項	11 項	合 計	
市町名	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数
金属加工機械	74	210	17	227	5	74	180	90	326	2	7	699
福井市	24	95	0	1	50	15	37	14	67	0	0	98
敦賀市	2	40	0	0	0	3	13	7	17	1	1	25
小浜市	1	1	0	0	0	26	39	5	24	0	0	45
大野市	0	32	4	85	0	6	30	0	0	2	5	122
勝山市	22	145	1	145	5	10	23	8	30	1	5	235
鯖江市	4	52	2	33	0	3	6	2	7	0	0	57
あわら市	69	261	2	116	6	38	109	20	69	7	31	327
越前市	4	11	0	438	2	12	40	6	16	1	22	472
坂井市	2	7	0	46	0	2	5	4	12	0	0	61
永平寺町	0	0	0	0	0	3	10	0	0	0	0	4
美浜町	1	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	11
高浜町	203	857	407	1,101	20	192	492	156	568	6	18	2,157
合 計	203	857	407	1,101	20	192	492	156	568	6	18	2,157

(注) 工場数欄において、1つの工場については、主要な特定施設の項Iか所のみ計上した。

(資料：環境政策課)

表6-1-2 騒音に係る特定建設作業届出状況 (令和2年度)

施設種類	1 項	2 項	3 項	4 項	5 項	6 項	7 項	8 項	合 計
市町名	くい打機等を使用する作業	びよう打機を使用する作業	さく岩機を使用する作業	空気圧縮機を使用する作業	コンクリートプラント等を設けて行う作業	バックホウを使用する作業	トラクター・ショベルを使用する作業	ブルドーザーを使用する作業	合計
福井市	7	0	66	3	0	15	0	0	91
敦賀市	1	0	17	4	1	16	1	1	41
小浜市	0	0	1	0	0	1	0	0	2
大野市	0	0	3	0	0	2	0	0	5
勝山市	0	0	2	2	0	1	0	0	5
鯖江市	0	0	2	1	0	1	0	0	4
あわら市	0	0	10	2	0	3	0	0	15
越前市	1	0	7	1	0	4	0	0	13
坂井市	0	0	0	1	0	1	1	0	3
越前町	0	0	0	0	0	2	0	0	2
高浜町	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合 計	9	0	108	14	1	47	2	1	182

(資料：環境政策課)

表6-1-3 振動に係る特定工場等実数および特定施設総数

(令和3年3月31日現在)

施設種類	1 項 金属加工機械		2 項 圧縮機		3 項 土石用破砕機・ふるい等		4 項 織機		5 項 コンクリートブロッカマシン等		6 項 木材加工機械		7 項 印刷機械		8 項 ゴム練等用のロール機		9 項 合成樹脂用射出成形機		10 項 鋳造型機		合計	
	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数		工場数
市町名	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数
福井市	53	147	161	720	3	14	87	2,164	0	0	6	7	27	76	0	1	9	118	2	2	348	3,249
敦賀市	18	91	23	46	0	0	1	48	2	4	3	3	6	28	0	0	1	52	0	57	54	329
小浜市	2	65	7	34	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	7	0	0	12	108
大野市	0	0	1	21	0	0	10	897	0	0	2	2	3	19	0	0	0	0	1	1	17	940
勝山市	1	7	7	47	3	47	66	4,298	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0	0	81	4,405
鯖江市	26	280	22	65	2	8	57	2,605	0	0	0	0	5	13	0	5	3	13	1	5	116	2,994
あわら市	1	1	6	22	0	0	10	315	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	19	345
越前市	58	178	35	290	3	12	95	2,952	0	0	4	4	12	28	1	13	4	30	0	0	212	3,507
坂井市	1	1	7	15	0	0	248	4,539	0	0	1	2	1	4	0	0	1	22	0	0	259	4,583
永平寺町	0	0	3	6	0	0	51	1,274	0	0	0	0	4	11	0	0	0	0	0	0	58	1,291
美浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
高浜町	1	3	4	15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	19
合計	161	773	276	1,281	12	82	625	19,092	2	4	20	29	61	187	1	19	23	248	4	65	1,185	21,780

(注) 工場数欄において、1つの工場については、主要な特定施設の項1か所のみ計上した。

(資料：環境政策課)

表6-1-4 振動に係る市町別特定建設作業届出状況

(令和2年度)

作業種類	市町名										合計	
	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市	越前市	坂井市	越前町		高浜町
1 項 くい打機等を使用する作業	10	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	15
2 項 鋼球を使用して破壊する作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 項 舗装版破砕機を使用する作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 項 プレーカーを使用する作業	57	17	0	3	1	3	10	7	2	2	1	103
合計	67	19	0	3	1	5	10	8	2	2	1	118

(資料：環境政策課)

表 6-15 悪臭防止法に基づく規制基準

悪臭物質の種類	規制基準	
	A 区域	B 区域
アンモニア	1 ppm	2 ppm
メチルメルカプタン	0.002 ppm	0.004 ppm
硫化水素	0.02 ppm	0.06 ppm
硫化メチル	0.01 ppm	0.05 ppm
二硫化メチル	0.009 ppm	0.03 ppm
トリメチルアミン	0.005 ppm	0.02 ppm
アセトアルデヒド	0.05 ppm	0.1 ppm
プロピオンアルデヒド	0.05 ppm	0.1 ppm
ノルマルブチルアルデヒド	0.009 ppm	0.03 ppm
イソブチルアルデヒド	0.02 ppm	0.07 ppm
ノルマルバレルアルデヒド	0.009 ppm	0.02 ppm
イソバレルアルデヒド	0.003 ppm	0.006 ppm
イソブタノール	0.9 ppm	4 ppm
酢酸エチル	3 ppm	7 ppm
メチルイソブチルケトン	1 ppm	3 ppm
トルエン	10 ppm	30 ppm
スチレン	0.4 ppm	0.8 ppm
キシレン	1 ppm	2 ppm
プロピオン酸	0.03 ppm	0.07 ppm
ノルマル酪酸	0.001 ppm	0.002 ppm
ノルマル吉草酸	0.0009 ppm	0.002 ppm
イソ吉草酸	0.001 ppm	0.004 ppm

(注) A区域：都市計画法に基づく用途地域のうち、おおむね第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域および商業地域ならびにこれらの地域に準ずると考えられる地域。
 B区域：都市計画法に基づく用途地域のうち、おおむね準工業地域および工業地域ならびにこれらの地域に準ずると考えられる地域。

表 6-16 福井県公害防止条例に定める特定施設に係る悪臭の規制基準

規制基準	臭気指数 18
------	---------

(注) 「臭気指数」とは、人間の嗅覚で臭気を感じることができなくなるまで気体の希釈をした場合に、次の式において算定される値

$$Y = 10 \cdot \log X$$
 Y：臭気指数
 X：人間の嗅覚で臭気を感じることができなくなるまで気体の希釈をしたときのその希釈の倍数

表6-17 福井県公害防止条例に定める悪臭に係る特定施設

No.	特 定 施 設 の 種 類
1	牛、豚（生後2月未満のものを除く。）または鶏（生後30日未満のものを除く。）の飼養場（牛にあつては10頭以上、豚にあつては50頭（繁殖豚にあつては5頭）以上、鶏にあつては1,000羽以上の飼養の用に供するものに限る。）において用いる施設であつて、次のいずれかに該当するもの ① 飼養施設 ② 飼料調理施設（加熱して調理するものに限る。） ③ ふん尿処理施設
2	けいふんの乾燥または焼却を行う工場において用いる施設であつて、次のいずれかに該当するもの ① 乾燥施設 ② 焼却施設
3	死亡獣畜取扱場において用いる施設であつて、次のいずれかに該当するもの ① 解体室 ② 汚物処理施設 ③ 焼却炉
4	化製場（魚介類または鳥類の肉、皮、骨、臓器等を原料とする飼料等の製造の工場を含む。）において用いる施設であつて次のいずれかに該当するもの ① 原料処理施設（原料貯蔵室および化製室を含む。） ② 煮熟施設 ③ 圧搾施設 ④ 汚物処理施設 ⑤ 乾燥施設

表6-18 悪臭に係る特定施設届出状況（福井県公害防止条例）

（令和3年3月31日現在）

施設種類	1 項		2 項		3 項		4 項		合 計	
	動物の飼養の用に供するもの		けいふんの乾燥または焼却を行う工場において用いるもの		死亡獣畜取扱場において用いるもの		化製場において用いるもの			
市町名	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数
福井市	11	44	0	0	0	0	0	0	11	44
敦賀市	10	17	0	0	0	0	0	0	10	17
大野市	4	13	0	0	0	0	0	0	4	13
勝山市	4	16	0	0	0	0	0	0	4	16
あわら市	6	21	0	0	0	0	0	0	6	21
越前市	8	21	1	1	0	0	0	0	9	22
坂井市	26	110	0	0	0	0	0	0	26	110
池田町	4	11	0	0	0	0	0	0	4	11
南越前町	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
越前町	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
美浜町	4	5	0	0	0	0	0	0	4	5
おおい町	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
若狭町	6	14	0	0	0	0	0	0	6	12
合 計	85	276	2	2	0	0	0	0	87	276

（資料：環境政策課）